

地域はクリエイターの創造性を拡張し、 クリエイターは地域のものづくりを革新する。

伝統の技から最新の産業まで、ものづくりの盛んな富山県高岡市。その背景にある、厳しくも豊かな自然の恵み、加賀前田家ゆかりの歴史文化、コミュニティ意識と進取の気質など、高岡の魅力と秘密は、これからのものづくりと消費のあり方を探るための刺激やヒントになると考えます。

働き方やライフスタイルの変化の中で、地域に関わるクリエイターたちも増えてきています。この秋、私たちはものづくりに携わる人・関心のある人たちとの新しい出会いや協働の可能性を求め、高岡の魅力と秘密の一端をお伝えするイベントを開催すると同時に、11月に行う「クリエイター向けモデルツアー」の参加者を募ります。



〈プログラム内容〉

● 展示 / 14:00～20:30

先人の技が凝縮した伝統的な作品から、デザイナーとのコラボレーションなどによって生み出されている話題のプロダクト、高岡の職人と先端テクノロジーのエンジニアが協働した作品など、高岡の多様なものづくりとその根底にある心意気をご紹介します。



● ワークショップ / 14:00～18:00

高岡の技を体験するワークショップ。金属工芸と螺鈿細工の職人が教えます！

*事前予約不要、参加費(3,000円)別途。所要時間30～60分。

◎「すずがみ」叩き体験

紙のように薄くて自由に曲げることのできる錫(すず)の器を、お好きな模様の金槌を使用して作る体験です。講師：島谷好徳(鍛金職人、シマタニ昇龍工房4代目)



◎「螺鈿細工」のお箸作り

アワビ貝を0.1mmまで薄く削った貝を使う高岡の螺鈿細工で、オリジナルのお箸を作ります。講師：武蔵川剛嗣(鍛金職人、武蔵川工房4代目)

● トークセッション+交流会 / 19:00～20:30

高岡市とゆかりのあるクリエイターと地元の職人・作家を招き、高岡市のものづくりや文化・人の魅力、クリエイターと地域のものづくりのこれからについてなど、意見を交わします。トークの後は、高岡の作り手、ゲストスピーカーとの交流会。富山の地酒、そしてd47食堂による富山の食材を使ったオリジナルメニューもお楽しみください。



・Session 1

ナガオカケンメイ(デザイン活動家、D&DEPARTMENTディレクター)×島谷好徳(鍛金職人、シマタニ昇龍工房4代目)

・Session 2

小池博史(クリエイティブディレクター、NON-GRID INC.代表)×佐野文彦(美術作家・建築家)×尾崎迅(金工作家)

・モデレーター：林口砂里(エピファニーワークス代表)



◎トークセッション+交流会は事前予約が必要です。

定員：100名

参加費：500円

申込み方法：Peatix(ピーティックス)からお申込み下さい。



ナガオカケンメイ



島谷好徳



小池博史



佐野文彦



尾崎迅



林口砂里

2019. 11. 22～23(1泊2日)、富山県高岡市でクリエイター向けモデルツアーを実施します。
伝統～先端までもものづくり工房・工場や歴史文化を訪ねる旅。本イベントにて参加者を募集します！

富山県高岡市について

人口約17万人の富山県西部の中心都市。高岡銅器、高岡漆器などの伝統産業と、アルミ・化学・パルプなどの近代産業がともに盛んな、日本海沿岸を代表するものづくりのまちとして発展してきました。歴史的・文化的資産も数多く残され、昔も今も変わらぬ人々の心意気が受け継がれています。

